

## 《 令和2年度 ごみ減量化モデル事業実績報告 》

- ① 事業期間：令和2年3月1日～令和3年3月31日（令和2年3月は準備期間）
- ② 参加世帯：30世帯（春和4区15世帯 番匠台区15世帯）
- ③ 事業内容：コンポスト容器等の活用による生ごみの減量や、水切りの徹底。  
ごみ分別の徹底。特に「雑がみ」を水曜日に資源物として排出。  
剪定枝や刈草の自家処理又は堆肥化。  
可燃ごみ（週2回）及び紙類などの資源物（月2回）の重量測定。



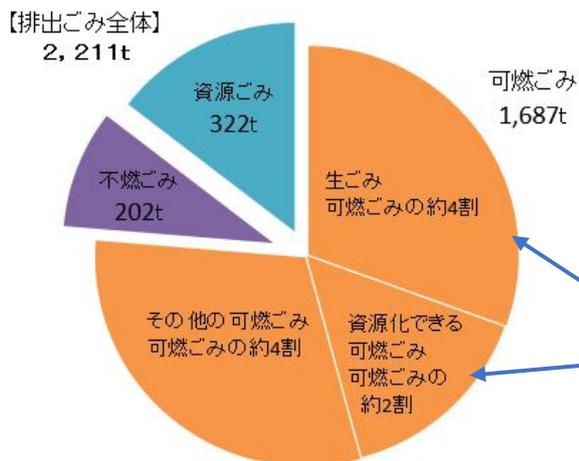
※3月は基準月とするために従来通りの出し方をお願いしています。

※3月を基準に増減を見ることから「雑がみ」の数値が3月は「0」になっています。

### 《経費の削減効果》

- ・可燃ごみの削減量 **1.146 t**  $1.146 \text{ t} \times 35,000 \text{ 円/t} = 40,110 \text{ 円}$  の費用削減
- ・雑がみ回収量 **0.794 t**  $0.794 \text{ t} \times 3,000 \text{ 円/t} = 2,382 \text{ 円}$  の売却収入
- ※ごみの削減量合計 **1.940 t**
- ※経費削減合計 = **42,492 円**

### 《 令和2年度に町が排出した一般家庭ごみの内訳 》



町から令和2年度に排出された家庭系可燃ごみは約**1,687 t**。

町が令和2年度に小川地区衛生組合にごみ処理のために支払った負担金は約**1億1,000万円**。

この金額はごみの重量で決まります。

この部分がモデル事業で削減対象となるごみです。  
(可燃ごみの約6割)